

あさひ

設立30周年特別記念号

平成14年9月18日発行

特別養護老人ホーム 朝陽ヶ丘荘

〒679-5311 兵庫県佐用郡佐用町平福138-1
TEL 0790-83-2008 FAX 0790-83-2035



設立30周年によせて

兵庫県社会福祉事業団 理事長 永井 光明

朝陽ヶ丘荘は、昭和47年8月、西播磨地域では民間施設に先駆けて県立の特別養護老人ホームとして、佐用町の朝陽ヶ丘の地に開設され、その後、平成11年4月に、美しい歴史的町並みと自然豊かで、町の福祉ゾーンに位置づけられた平福の地に移転し、このたび開設30周年を迎えました。この間、利用者・ご家族の方々や、地元の皆様方からの暖かいご支援とご協力をいただき、また、県・佐用町を始めとする関係各位からも格別のご理解とご指導をいただきましたことをこころから感謝を申し上げます。

さて、朝陽ヶ丘荘は、30年前と比較しますと、建物は、2.5倍広く、全ての部屋が個室化仕様となり、設備面でも大幅に充実されました。利用者の方々の平均年齢は、84.2歳と、約10歳アップし、90歳以上の方も27人と、約7倍に増え、高齢化が顕著になってきています。

また、施設運営の面では、開設以来、「家庭と変わらない温かいホームづくり」をめざし、最近ではこれに加えて、「人としての尊厳を大切にし、その人らしさを応援したい」をテーマに、サービスの質の一層の向上に取り組んでいます。

さらに、納涼祭など地域との交流事業のほか、ショートステイや食事サービス、居宅介護支援事業など在宅福祉事業にも積極的に取り組み、地域と一体となって福祉力の向上に努めています。

今後は、介護保険制度のもとで、利用者本位を基調とした、「利用者の方から選ばれる施設」、「地域の皆様から愛され、信頼される施設」づくりをめざし、職員一同、さらなる努力を重ねてまいる所存でございます。地域の皆様、関係各位のなお一層のご理解とご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

納涼祭りの ひとこま



三日月町から
「播州三日月太鼓」のオープニング演奏



利用者、地域の方と楽しんだ
歌謡ショー



納涼祭りのひとこま

8月7日(水) 今年度の納涼祭りは、当荘の設立30周年記念行事の一環として盛大に催されました。恒例の花火の連発から開始され、来賓者、地元県議会議員、町長、事業団理事長の方々から祝辞を賜り、当荘の30年の重みと佐用町の地域の方に育まれてきた年月を身をもって痛感いたしました。つづいて威勢良く「播州三日月太鼓」の太鼓の響きと共にいよいよ待ちに待った納涼祭りの始まりです。

この納涼祭りも地元の方の協力で年々大きくなり、今年度も平福の方はもちろん佐用町全域から盛り上げての行事となっていました。盆踊りでは、長谷地区ふるさと祭り実行委員会のみなさんの浴衣姿の踊りに利用者、利用者の家族の方、そして地域の方達も踊る輪になり、二重、三重と次第に大きくなって太鼓の音色に酔いしれているようでした。

また、この行事には欠かせない夜店（たこ焼き、たい焼き、ヨーヨー釣り等）にも長蛇の行列、いちょう園、はりま園、共立病院の方々。また地域福祉センターからは、ビール、ジュース等の店先は人盛り。利用者の手助けとして佐用町ボランティア、朝陽ヶ丘荘O Bの方々等。地元の方々の協力とがあっての総勢700名近くの方達とこの平福の地で同じ時間を共用できた喜びを感じました。

この「地域ふれあい納涼祭り」を支えてくださった皆様方本当にありがとうございました。お礼はまず、利用者の喜々とした笑顔が美しかった。感動！感動をありがとう!!

30周年記念



30年を迎えて 地域に愛されて

朝陽ヶ丘荘所長 垣尾 幹男



昭和47年8月1日に西播磨地域で最初の特別養護老人ホームとして設立されてから、平成14年8月1日で30周年を迎えました。

この間、利用されている皆様が、潤いとやすらぎのある生活をおくっていただくことを願い、ねたきりゼロの推進、趣味活動の充実、積極的な地域交流の実施など、処遇内容を高めることに努めてまいりました。

また、平成11年4月、「パワーアップ21作戦」の整備基本方針の基に、施設の居住性の向上、高度介護サービスの充実、災害時における防災拠点施設として改築整備され、宿場町である平福に移転しました。

これもひとえに、関係各位の深いご理解と地元佐用町の皆様の暖かいご支援とともに、先輩職員の皆様のご苦労と努力の賜物と心からお礼申し上げます。

さて、介護保険制度がスタートして3年目、社会福祉基礎構造改革が進められるなか、「利用者本位のサービス提供」、「人材育成」、「地域福祉施設の拠点としての役割」など、施設の役割はますます重要となっています。当施設におきましても、これらのこと踏まえて、朝陽ヶ丘荘設立30周年という大きな節目を迎え、これを契機にさらに気持ちを新たに、今一度原点に戻り利用者の皆様が望まれる魅力的なサービスが提供できるよう、さらに研鑽と努力を重ねるとともに、これまで積み重ね築いてきた介護技術やノウハウを地域に提供し、地域と一緒にした施設づくり、また、地域に貢献する新たな事業の展開や利用者のニーズに応じ、利用者本位の質の高いサービスの提供と、利用者や地域から選ばれ、愛され、信頼される施設づくりの実践に向けて、職員一丸となって積極的に取り組む所存でございます。

今後とも、皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

朝陽ヶ丘荘30年の歳月



平福小学校だったころ



校舎・グランド・周辺田畠は埋め立てられ更地に



大規模な建築工事



完成!!



S 47. 8
開設当時全貌



心豊かな生活を祈っています

朝陽ヶ丘荘O B 山本よしこ

30周年おめでとうございます。

設立当時から朝陽ヶ丘荘に26年間勤務させていただきましたが、最後の2年程は新施設設立に向け先進的な施設、歴史のある施設のノウハウを少しでも良い面を採用しようと必死でした。そして何度も検討を重ね、製図のようなものが見え隠れするようになり、最終的に専門家にお任せ致しました。工事が始まり鉄筋が立ち並ぶようになると堀越しにみまったくことがつい先日のように思い出します。

そして平成11年3月24日の引っ越しには、職員のきめ細かな計画の基、佐用町のボランティア、事業団の職員そしてO Bの応援で無事大移動に参加出来たことを誇りに思っています。

又、O Bとして、ことある行事に声をかけていただき参加していますが、敬老行事、納涼祭の写真を眺めでは思い出しています。ただ年々顔なじみの方が少なくなっていくのは残念ですが、これからもお手伝いできる行事には参加し、少しでもお年寄りの方が心豊かに生活できるようお祈りしつつ朝陽ヶ丘荘のますますのご発展をお祈り申し上げます。



開設竣工式



開設10周年記念式典



開設20周年記念式典



移転後的新施設 竣工記念式典



玄関ロータリー付近



9周年間近なホームA棟



旧施設

過渡期を振り返って

赤穂精華園授産指導課 吉村 俊樹

朝陽ヶ丘荘が設立されて30年目の記念すべき年を迎えました。そして新築移転、介護保険導入と施設の大転換の時期に遭遇いたしました。特に平成10年に入ると、新築移転に向けての休日出勤も交えての打ち合わせ、移転に伴う住民基本台帳、年金証書等の変更同時に、利用者の持ち物、当荘の荷造りも始まりました。行事を含めた同様の仕事をしながら、移転の準備と、落ち着いて仕事もできない毎日が続きました。移転後は、利用者も職員も戸惑い、右往左往の毎日、そんな中、平成12年度から始まる介護保険制度の導入の準備でした。ケアプランの作成においては、各グループに分かれ、利用者全員のケアプランを一人ひとり立てて行きました。今も行っているケアプランはここから始まったのです。新築移転・介護保険導入といった、二つの大きな流れを通り抜けた職員は年数とともに少なくなっています。当時を振り返った時、忙しさにも堪え忍び、全職員で取り組んだ足跡が今も私の心に大きく残っています。



S 48. 4. 8 花見

利用者の方もお元気な方が多かったです。車椅子の人は2~3名です。



S 52. 9. 10 台風17号による水害吉福橋付近
佐用川がはんらんし、見る見るうちに佐用の街も水につかってしまいました。

S 52 室内運動会 網引き

今では考えられない、職員・利用者合同の網引き合戦。



S 53 運動会

雨天の為、訓練室での運動会。所長を団長に応援合戦。



S 52. 8. 23 盆踊り

職員手作りのやぐら。シンプルですが真心のこもった盆踊り大会でした。音頭は「しゃんとこ…」

古き良き 思いを こめて



S 61. 9. 29 夜間避難訓練

夜間にサーチライトを照らして真剣そのもの。発炎筒をたいて煙の中を救出。



S 61 模擬店

各コーナーはすべて手作り。おでん・おにぎり・焼き鳥など…いろいろを作りておかきを焼くコーナーは昔を思い出して人気がありました。



S 58. 4. 12 観桜会

満開の桜並木のもとの観桜会。踊りや歌で楽しみました。



H 7. 12. 25 大雪

まさにホワイトクリスマス。一晩の内に大雪。職員も徒歩通勤。



H 6. 3 地域ふれあい茶会

H 1. 7. 26 そうめん流し





平福 散策
いにしえの宿場町 平福を訪ねて



平福体育馆にて合同運動会
まだまだ若いものには負けられない



ひまわり娘と私たち
いきいきリフレッシュ 南光町 ひまわり畑



平福秋祭り
施設の中までおみこしが来てくれました。



道の駅「ひらふく」にて喫茶
いきいきリフレッシュ

新しい風を 求めて



ラベンダーに囲まれて
いきいきリフレッシュ 佐用 天文台 ラベンダー畑



播州三日月太鼓
迫力満点！



利神小学校との交流 空き缶積



佐用都比賣まつり
室内安全 無病息災



将棋
♪歩のない将棋は負け将棋♪



生花教室
流派は…自己流



利神小 生徒と風船バレー



ドッグセラピー
うわっ！いぬ・イヌ・犬

回転寿司がやってきた！



支援員だより

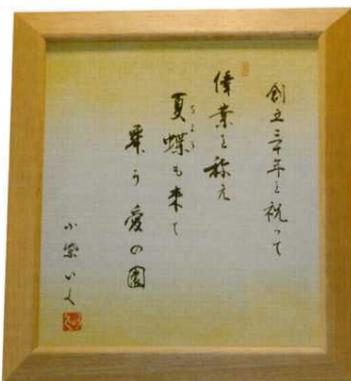
潤いある生活を目指して

支援員 赤松 育美

朝陽ヶ丘荘での勤務が10年目となりました。10年という間には色々な事があり、貴重な体験をさせていただきました。利用者の方や職員との出会いや別れ。何と言っても施設の移転などの体験は、そう簡単には出来なかつた事だと思います。

移転には、家族や地域の方々・OB職員といったたくさんの方々の協力により、無事移転することが出来、はや4年目を迎えてます。また、介護保険の導入により日々慌ただしく過ぎていく毎日ですが、5月15日・22日には「出張回転寿司」を施設で行い、利用者の方々に喜んでいただきました。生活していく中でもっとも楽しみの一つである“食”に目を向けたものでした。業者の方に目の前で握ってもらい自分で好きなお寿司を手に取り食べるという普段私達が何気なくしている事ですが、施設で行うことができ、又、利用者の方々が喜んでおられる顔を見て、何か次の楽しみを考えいかなければ…と思っております。

(次回は「部会だより」をお知らせします。)



「ショートステイ利用者から30周年記念の贈り物」

編集後記

「あさひ特別号」は朝陽ヶ丘荘設立30周年を記念する号となりました。いつもよりページ数も多く、特集として新旧朝陽ヶ丘荘を比較しています。また、機関誌「あさひ」では、利用者の皆さんのが作られた和歌や習字など作品の掲載もしております。作品の掲載を希望される方がありましたら、職員に声をかけてください。では、次号「あさひ」もお楽しみに！

俳句

☆三十年とは短く長し風光る

☆踏みしめて登つて行きます
☆松の歲月永久に色変へず
雲の峰

★一筋に歩いて来た道
薔薇香る

小紫 イクさん詠

★立雲荘

住所 〒669-5252
朝来郡和田山町竹田2063-3

電話 0796-74-2311
FAX 0796-74-0085

★栎の実温泉荘

住所 〒669-6808
美方郡温泉町歌長3193
電話 0796-92-1821
FAX 0796-92-1840

★浜坂温泉保養荘

住所 〒669-6702
美方郡浜坂町浜坂775
電話 0796-82-3645
FAX 0796-82-3647

いらっしや
いませ